



# IUFRO-J NEWS

No. 48 (1993.3)

## CIFOR の 誕 生

大日本山林会 松井光瑶

1991年11月、ワシントンで開催されたCGIAR総会において、その傘下にCIFOR (Center for International Forestry Research) を新設することが決定され、具体的な設立準備に入ることになった。

1992年に入りCIFORの骨格作りの第1歩として、理事会メンバーが選定された。候補者は約150名に及んだと云うが、スウェーデン、タイ国、フランス、オーストラリア、コスタリカ、米国、ブラジル、パナマ、ケニア、マレーシア、日本、カナダから計13名、これにICRAFの理事会議長 (George D. Holmes) とホスト国代表で構成される。理事会は所長を選び、所長が協力者とともに作る研究計画、要員、予算案を審議しCGIARに提案する。1992年CGIAR総会において、CIFORの所在地をインドネシアのボゴールとすることが承認され、インドネシア政府と各種契約条件のつめ、法的手続きについて折衝に入った。初代所長もイギリスのJeffrey Sayer氏に決定し、Staffの募集に入る。

インドネシア政府はCIFORの受け入れに極めて熱心であるし、CGIARも一刻も早いCIFORの活動開始を望んでいるので、年内の始動は確実と思われる。

農業関係の国際研究機関は数多いが、森林関係の国際研究機関の無いのは誠に不思議なことで、この度長い間待ち望んでいたCIFORの誕生は誠に喜ばしく、とくに途上国の林業研究機関には大きなImpactを与えるものと期待される。ここにCIFOR誕生の流れを追って見たい。

### ◎ CGIARの発足と最近の動き

CGIARは1971年のワシントンにおいて、世銀、

FAO、UNDPを中心にして、先進16ヶ国、地域開発銀行、途上国の農業研究を支援して来た実績のある民間団体等の参加のもとに設立された。議長は世銀の副総裁が当たり、事務局は世銀の中にある。その目的は、途上国を対象にした国際農業研究を長期的かつ組織的に支援して、国際的食料増産に寄与するため、IRRI、CIMMYTなど既存のものと同様に逐次新設された研究センターを加え1990年現在13センターを傘下に成果を挙げて来た。1991年の総会で新たに5センターを加え、CIFORを含め18センターとなっている。

CGIARは、日本、米国、英国、カナダ、フランス、ドイツ、オーストラリア、イタリア等24ヶ国、並びに世界銀行、UNDP、FAO、アジア開発銀行等の11国際機関、ロックフェラー、フォード等5財団などの出資国及び機関からの資金を集め、傘下各研究センターに、研究運営計画を審査の上配布する役目を持っている。総出資額は年による変動はあるが約2億4千万米ドルである。日本は重要な出資国で、窓口は外務省国際機構課である。最近、中国、韓国、インドネシアが加入した。

CGIARは出資者のグループであり議決機関であるが、傘下研究センターの研究計画、運営、成果の評価等研究に関係した問題を検討、提案させるため、その傘下にTAC (Technical Advisory Committee) を持っている。TACの事務局はローマのFAO内にある。メンバーは農業研究の各分野にわたる専門家たちで、日本には常時メンバーを送りこんでいる。任期は1期2年で2期を務める例が多い。

爾來、CGIAR傘下の研究センターでは、途上国の食糧作物の重要なものを選び、増収性、耐病虫害性、耐

旱性、耐塩性などを目標にした育種を中心にした研究が進められて来た。既に、イネ、コムギなどについては途上国における飛躍的な増産に寄与し、「緑の革命」と稱された事は有名である。

しかし、得られた新品種の現地適用試験、普及等はそれぞれ国の試験場に委ねられ、必要に応じて研究員の研修、情報提供が進められて来たが、途上国の農業実態は、新技術の導入は遅々とし、大勢は森林の転用による農耕地の拡大による増産対応に頼っていた。

熱帯の森林土壌は貧栄養なものが多く、農地化することによって急激に地力が低下する例が多い。人口増加に伴い、転用も多くなると同時に、休耕期間も短くなり、地力の低下も著しく、放棄地も増加して来た。同時に森林の減少は土壌侵食の増大、理水機能の低下を招き民生への影響は勿論農業自身にも悪影響が出て来た。時あたかも環境論議の高まりもあり、天然資源の食いつぶしをやる農業にも将来展望はなく、ここに、天然資源の保全を考えた持続的農業生産の考えが出現した。ここに、水土保全機能の高い森林の研究の必要が生まれて来た。

一方、農地は生産の限界地域へと拡大を続けているが、不適地に無理に食糧作物を栽培する事は、むしろ不合理で、その地域での適作物に切り換え、その収穫による収入で食糧を入手する方向、即ち、食糧の Self-sufficiency の考え方から食糧の Self-reliance への転換が必要と考えられた。天然林からの生産物を有効に利用し、地域住民の自立を計ることも重要な分野となる。あわせて、蛋白源としての魚類の活用、ビタミン源としての野菜の重要性も強調され、さらに、バナナ、ヤシ類の研究強化、灌漑等水利用の合理化も重要課題として浮かび上がって来た。

そこで 1988 年の総会で、CGIAR 傘下の研究拡大、調整を検討することが決議され、各種臨時委員会でのこれらの問題が検討されることになった。TAC の中に設けられた Panel on Natural Resources Conservation Management Research と Panel on Forestry Research はこの中でも最も active なものであったと云えるだろう。

#### ◎ CIFOR 誕生までの動き

1987 年 7 月、FAO、世銀、UNDP、WRI、ロックフェラー財団が主催し、各国の林業指導者や援助機関がイタリーの Bellagio にあつまり「熱帯林戦略会議」が開催された。後に Bellagio I 会議と呼ばれたものである。その結論は、FAO の進める TFAF (Tropical Forestry Action Plan) を支持することと同時に、研

究の重要性を強調し、Task Force on Tropical Forestry Research を設けたことであった。この Task Force は 1988 年 11 月ロンドンで開催された Bellagio II 会議に国際的研究推進体制についての案を提出し大筋の承認を得たが、その時の優先研究分野として、

- (1) アグロフォレスリーと流域管理
- (2) 天然木の生態と管理の研究
- (3) 林木の選抜と育種
- (4) 林産物の利用と市場研究
- (5) 政策と社会・経済研究

の 5 分野が承認された。

研究推進体制については、ITFRC (International Tropical Forestry Research Council) の設立案が示めされた。

一方、IUFRO は 1981 年の京都大会において熱帯林研究を重点課題として挙げ、1983 年 SPDC (Special Programme for Developing Countries) が発足し、1986 年のリュブリアナ大会では INCOFORE (International Council for Forestry Research and Extension) 設立の提案が承認されていた。これ等は研究ネットワーク的なものであったが研究実施機関としての CIFOR 誕生の原動力となったと考えられる。

TAC は 1990 年より Forestry 及び Agroforestry 専門家 4 名を新たに増員し、CGIAR 構成国や諸機関、有識者の意見を聴取しつつ精力的に論議を重ね、1990 年の CGIAR 年央総会に研究分野拡大案を提出した。

林業分野については、その地域性の故にアジア、アフリカ、中南米にそれぞれ研究センターを設立する案、既存の ICRAF (International Council for Research in Agroforestry) を拡充して森林研究を行う案等、多くの案の利害得失を検討の結果、ICRAF を傘下に入れ拡充する案を提出した。

しかし、森林研究を ICRAF で行なうことは否決され、ICRAF は単独で CGIAR 傘下に組み込み、今までアフリカを中心に活動していたものを世界全域に拡げることが決定され、同時に森林研究センターを新設することとなった。

TAC の考え方は、天然林から畑の中に植えられた一本の樹木に至るまでを一連の土地利用として研究対象とする方が合理的であるとするものであったが、ICRAF は、農業と林業の境界研究領域としての Agroforestry 研究の考え方や研究手法が定着し始めた段階で新たに伝統的な林業研究を組入れることは、混乱を招きかねないと考えていた。一方出資機関もそれぞれの理念に基づいて各研センターへの期待に強弱があり、ICRAF の独立

性を支持する声が強かった。結果として、ICRAF と CIFOR が併走することとなったが、この両研究センターにおける研究の重複を避け、補完的効果の発揮が強く望まれ、両センターの理事会には双方の議長の相乗りが求められた。

CIFOR 設立の準備グループが発足することとなり、オーストラリアの ACIAR (Australian Center for International Agriculture Research) が事務局となり、林業部長の Ian Bevege 氏が主査として活動を開始した。東大の佐々木教授 (IUFRO 理事) は請われて adviser として参画した。

CGIAR 傘下の各研究センターの設立には、いろいろな形態があった様だが、CIFOR の場合は、初めて国際的に認められる設立手続きを踏もうとした。最初は、日本、米国、オーストラリアの三国が sponsor となって、host country と設立の契約を結ぶこととして作業が始まったが、日本の場合は、この種の手続きは国際条約としての取扱いとなり、時間を要することが明らかになり、現在は、オーストラリア、カナダ、スウェーデン、スイス、米国が sponsor となることに同意していると言う。

#### ◎ CIFOR の性格

CIFOR は途上国を対象とした国際森林研究所であり、

地域住民の貧困の解消と収入機会の創出を目的として、土地利用の改善のための政策研究、森林、樹木、荒地地の管理技術の改善、木質及び非木質製品の効率的利用等の研究を行なうこととし、大企業による伐出技術研究に類するものは他に委ねる方針である。

研究領域としては、天然林の生態研究、人工林の効率的管理、その基礎技術としての育種、土壌微生物、バイオテクノロジー等が論議されており、途上国の研究能力向上を計るため、情報活動、セミナー、研修も重要分野となる。

IUFRO の SPDC との連携も必要となろう。

研究施設の早期完成よりも、一日も早い研究活動を優先させ、途上国研究機関への委託研究、CG 傘下研究センター、先進国研究機関との協力研究に着手する予定である。

途上国全地域をカバーするため、人材、予算の 30% 程度を本所で、70% 程度を出先配布する方針である。

今まで、CG の研究センターには日本の研究者も、専任研究員として、また、JICA や熱帯農研を通じた協力研究員として関係を保ってきている。CIFOR とも積極的な協力が期待されるし、とくに熱帯降雨林研究は日本人研究者の得意の分野といえるだろう。

(大日本山学会副会長 TAC 委員 (1990~1992))

## IUFRO 100 年記念大会

### 「小規模林業 (P 3. 04)」研究集会に参加して

森林総合研究所 駒 木 貴 彰

IUFRO 100 年記念大会期間中の 9 月 2 日、3 日の両日、ベルリン工科大学において「小規模林業 Small-scale Forestry」部会の研究集会が開かれた。私は、1988 年からこの部会の研究集会に参加しており、今回で 3 回目である。ここでは、初めにこの研究集会の概要をご紹介します。次に大会の開催地であるベルリンの印象を述べてみたいと思う。

#### 研究集会：

##### 1. 「小規模林業」部会の概要

この部会はディビジョン 3 (森林作業と技術) に属している。部会のリーダーは、今回の記念大会の全体会議

でも講演を行ったドイツのバーデン・ビュルテンベルク州林業試験場経営部長のブランドル博士である。

部会の名称 (Small-scale Forestry) を聞くと、林業機械分野を専門とされている方々の中には、スウェーデン農科大学 (SUAS) 林業普及部で発行している同名のニュースレターを思い浮かべる人がいらっしゃるかもしれない。しかし、これまでこの部会が中心的テーマとして取り扱ってきたのは、農家林業や共同的林業など各国の小規模林業経営に関する収支状況や、それへの税制の影響などの分析と、1990 年の研究集会用に準備された作業コストや木材の販売収入に関するフォーマットに沿った、小規模林業の収益性に関する国際比較という経

営経済学的課題である。したがって、ディビジョン3というよりは6に近いテーマで活動してきた。なお、この部会で扱う小規模林業とは200 ha以下の森林経営体を指し、日本の場合は事実上ほとんどの森林経営体が分析の対象となる。

今回の研究集会に参加したメンバーを国別にみると、ドイツ、フランス、オーストリア、イギリス、スウェーデン、フィンランド、カナダなど先進欧米諸国が中心である。日本からは、これまで毎回2~3名の研究者が参加していたが、今回は私一人であった。また、第3世界の国々から今回初めてインドがエントリーした。

## 2. 研究発表

部会のテーマは、「各国の私有林業の収益性と小規模林業のための機械装備 Profitability of private forestry in different countries and technical equipment for Small-scale Forestry」であり、今回初めて林業機械分野の課題が加わった。

研究発表は、プログラムでは20件の予定であったが、実際に発表したのは17件で、国別にはスウェーデン4、ドイツ3、オーストリア2、スロベニア2、フィンランド・イギリス・カナダ・フランス・インド・日本が各1であった。持ち時間は、質疑応答の時間を含めて30分であり、各自スライドやOHPを使って20~25分の発表を行い、残りを質疑応答に充てていた。

発表者とテーマは、集会での発表順に次の通りである。

- 1) Otto Eckmullner (土地開発大学：オーストリア) オーストリア山間地農業における森林と木材の重要性の増大
- 2) Walter Sekot (林業経営・林業政策研究所：オーストリア) 試験的経営ネットワークからみたオーストリア林業の経営的発展
- 3) Hans-Ulrich Sinner (バイエルン林業試験場：ドイツ) バイエルン地方の森林経営の収益性に関する経年比較
- 4) Sven Hogfors (全国スウェーデン森林所有者協会連合：スウェーデン) 北ヨーロッパ諸国における私有林業の収益性 (税引き前後)
- 5) T.H. Thomas (ウェールズ大学農学・森林科学部：イギリス) イギリスにおける農家林業と土地転用政策—その経済的評価
- 6) R.V. Singh (インド林業研究・普及委員会：インド) インド山岳地域の農家林業の収益性
- 7) Peter Sanders (ブリティッシュ・コロンビア大学：カナダ) ブリティッシュ・コロンビア州の造林地の

経済的実行可能性

- 8) 駒木貴彰 (森林総研：日本) 日本の伝統的林業地の現状
  - 9) Bostjan Kosir (森林・木材経済研究所：スロベニア) スロベニアにおける小規模林業の特徴と重要性
  - 10) Gerhart Rieger (ショフハイム営林署：ドイツ) 統合による小規模私有林の経営改善
  - 11) Jean-Luc Guitton (CEMAGREF：フランス) 小規模林業における植栽間隔を広くとった造林法
  - 12) Freiherr Hans Hiller (ゲルトリンゲン：ドイツ) ある私有林経営の単木的経済性を通じた生物学的自動制御—あらしの被害を考慮した60年間の結果
  - 13) Mirko Medwed (森林・木材経済研究所：スロベニア) スロベニアの私有林業での木材収穫法
  - 14) Matti Kinnunen (フィンランド森林研究所：フィンランド) フィンランドにおける共同所有森林の収益性
  - 15) Tomas Gullgerg, Jan Swartstrom (スウェーデン農科大学：スウェーデン) スウェーデンの森林作業における農用トラクター使用の可能性
  - 16) Lars Hedman (スウェーデン農科大学：スウェーデン) スウェーデンの条件下での馬糞のための適切な方法と技術
  - 17) Tomas Nordfjell, Jan Swartstrom (スウェーデン農科大学：スウェーデン) スウェーデン林業における小型不整地走行車の開発—課題と可能性
- 上記のように多種多様な発表内容であったが、多くの国で零細森林所有者層(多くの場合農民)が私有林の大きな部分を占め、しかも彼らが地域林業の重要な担い手であること、零細性を克服するための方策として共同所有の推進が図られていること、また共同した方が収益性の向上も見込めること、私有林業を税制の見直しを含めて政策的にサポートし森林所有者たる農民の所得向上を図る必要があること、などが報告された。このように、小規模林業に対する取り組みについては、各国それぞれ状況が異なるとはいえ、農民の所得向上のため林業部門の強化が必要であることについては、ほぼ共通した認識であるように思われた。

一方、林業機械関係の発表について、林業の収益性には機械化の進展が大きく影響するため、収益性に関して経営経済学的視点から林業機械の利用を分析することは意味のあることである。ただ残念ながら、今回の林業機械利用に関係する発表にはその様な視点からの接近はみられず、性能面など純粋に技術的な問題についての分析であった。

なお、ドイツとオーストリアの発表者5名が IUFRO の公用語の一つであるドイツ語で発表したので、私には全く理解できなかったことなどから、いちいち内容をご紹介できないのは残念である。後日、今回の研究集会で発表された論文のプロシーディングが発行される予定なので、それを基に再度内容を確かめるつもりである。

#### ベルリン散歩：

8月30日午後2時のベルリンの玄関口テーゲル空港は拍子抜けするほど閑散としていた。空港にある市内行バスの乗券販売機の前で、何番のバスに乗れば旧東ベルリン側にあるホテル・ウンターデンリンデンに行き着くのかと考え込んでいる一人旅の東洋人を哀れと思ったのか、ドイツ人ビジネスマンらしき紳士がバスの番号とホテルまでの道順を教えてくれた上に、買った時間から2時間はバス・地下鉄に乗り放題の便利なチケットまで紹介してくれた。おかげで空港からホテルまで3マルクの出費で、しかも30分程で着くことができた。私も東京駅で困っている様子の外国人を見たら助けてあげよう、と思ったのであった。

ウンターデンリンデンは、第2次大戦前ベルリンが大ベルリンと呼ばれていた頃の最大の通り（シュトラッセ）の名前である。ホテルの前をリンデンバウムの街路樹に沿ってこの通りを西に1.5kmも歩くと、あのブランデンブルク門である。私は、ホテルから会場のベルリン工科大学まで、この門の下を歩いてみた。ついこの前までは、冷戦時代の象徴であったチェックポイント・チャーリーのあった場所の側にある壁博物館に展示されている脱出方法でしか生きて通過することのできなかった場所を、この足で歩いているのだという、ある種の



写真-1 ブランデンブルク門  
旧西ベルリン側から  
旧東ベルリンを見る

感慨を感じたのであった。

旧西ベルリンのこざれいな建物や繁華街クーダムの賑わいと比べれば、東側の地味さはひとときは目立つ。黒ずんで年を感じさせるビルやネオンサインの輝きの少なさ、いたる所工事中の道路や補修作業中のビルが、年間国家予算の半分を旧東ドイツの復興に割いているドイツの現実を垣間みさせてくれた。ブランデンブルク門を挟んで東と西、東西ベルリンの姿がそこにあった。



写真-2 旧東ベルリン  
ウンターデンリンデン通り

旧東ベルリンにはマルクス・エンゲルス広場というものがあると知って、新潟大学の沼田先生御夫妻といっしょに出かけてみた。ところが、行けども行けどもマルクスの像もなければ地名表示も見あたらない。これはどうしたことかと、地図で目星をつけた広場で通行人に尋ねたところ、ここがそうだという。その場所は人通りが多いただの広場で、アメリカのバギーカーを使った見せ物をやるセットと旧ソ連軍の帽子や勲章、時計などを売る数人の男達が目立つだけであった。マル・エン広場にアメリカのバギーカーとソ連軍の残骸。時代は、その歴史的激変を実に鮮やかなコントラストで広場に描いていた。

先の本誌47号に森林総研前所長の小林富士雄氏は、巨大組織となった IUFRO は今、様々な点で曲がり角に入っている、と書いておられる。そのような IUFRO の100年記念大会が、発祥の地エーベルスバルドと、東西を隔てていた壁（the Wall）の崩壊という歴史的な大事件の余韻が未だ漂うベルリンを舞台に開催されたことは、真に絶妙のタイミングであったと思われるのである。

## ＜＜研究集会などのお知らせ＞＞

### IUFRO S.5.03.02「木質ボード類の保存」サブグループ開催のお知らせ

上記サブグループは5月16-21日に開催される木材保存研究グループ (IRG) にジョイントし、5月15日(土)に合衆国オランダ近郊の Grenelefe リゾート会議場において開催されます。プログラムは下記の通りです。

参加登録費は30米ドルの予定で、当日会場のDデスクに支払うことになります。参加申込は4月1日までに、所属、住所、電話番号、ファックス番号を明記の上、下記の主査までご連絡下さい。

主査：Dr. Alan Preston

CSI/Laporte

One Woodlawn Green

Charlotte, NC 28217

U.S.A.

ファックス：アメリカ(1)704-527-8232

プログラム

- 8:00 開会 A.F. Preston  
 8:15 木質ボードの保存技術 H.M. Barnes and T.L. Amburgey  
 8:45 防腐剤混入ウエファーボードの性質と加工法 P.E. Laks and R.D. Palardy  
 9:15 フェノール樹脂圧密積層板の生物抵抗性

角田邦夫

コーヒーブレイク

- 10:00 アスベンボードの生物要因の総括とこれからの研究の必要性 E.L. Schmidt  
 10:30 竹布ボードの接着剤混入処理 S. Padamabhan, S.Z.M. Lamal and S. Ananthanarayanan  
 11:00 防腐処理ボード類の開発のための試験法と処理  
 11:30 接地後6年のボード類の野外評価 鈴木憲太郎  
 昼食  
 13:00 木質ボードの気相ホルム素処理 R.J. Murphy, D.J. Dickinson, P. Turner, P.J. Wickens and R. Hashim  
 13:30 ボード類の防腐法の検討 P. Quinn, A.J. Pendlebury and W.E. Conradie  
 14:00 防腐処理パララムのCCA浸透性と分布 J.N.R. Ruddick  
 15:00 木質ボード類の保存：合板の処理性と腐朽抵抗性 J. Van Acker and M. Stevens  
 15:30 総括と閉会

(森林総研 鈴木 憲太郎)

## ユフロ国際研究集会のお知らせ

「森林資源調査と森林経営科学の発展」というテーマでユフロの国際研究集会が1993年9月20日から25日まで韓国のソウルで行われる予定で、この会議のセカンド・サーキュラーがきています。Div 4のS4.02, S4.11, S4.04の三つのグループによるもので、次のA, B, Cのセッションに分かれています。

セッション A

森林資源調査とモニタリング

統計的方法、数学、コンピュータ

トピック：

成長モデル、エキスパートシステム、人工知能  
 21世紀に向けての森林資源調査における統計的

方法

セッション B

森林資源調査とモニタリング

トピック：

リモートセンシングによる資源調査とモニタリング、森林経営へのMISとGISの応用

セッション C

森林計画と経営経済

トピック：

森林経営と計画の改善  
 森林の土地利用の国家計画  
 数学的プログラミングとシミュレーション技術

## 保続的な経営管理

会議のほか、半日ツアーと一泊2日のエキスカージョンが用意されています。詳細はセカンド・サーキュラーをご覧ください。または、下記へ問い合わせてください。

IUFRO Organizing Committee

Dr. O-Bok kwon, Chairman/

Se-Kyung Chong, Secretary

Forestry Research Institute

207 Chongnyangni-Dong, Tongdaemun-Gu

Seoul, Korea

tel. + 81-02-961 2511, fax : + 81-02-967 5101

(森林総研 西川匡英)

## これからの研究集会予定 (IUFRO News Vol. 21 No. 4 より)

## IUFRO 研究集会

Division 1 (森林環境と造林): Sustainable Forestry in Australia - Future Directions (オーストラリアにおける持続可能林業 - 将来の方向) / 7-10 Feb 1993, Armidale, Australia

Division 1 (森林環境と造林): Symposium/Workshop on the Hydrological and Biological Functions and Importance of Mountain Cloud Forests (山岳雲霧林の水文・生物学的機能と重要性シンポジウム/ワークショップ) / 4-8 Apr 1993, Honolulu, Hawaii, USA

Division 1 (森林環境と造林): Tropical Rainforest Research: Current Issues (熱帯降雨林研究: 現在の問題点) / 9-17 Apr 1993, Darussalam, Brunei

S1.05-11 (シーダー造林の強化); Kingdom of Morocco; FAO; CIHEAM: International Symposium on Atlantic Cedar (アトラス・シーダ国際シンポジウム) / 31 May - 4 Jun 1993, Rabat, Morocco

S1.07-09 (ラテン・アメリカの造林); Corporacion Nacional de Investigacion y Fomento Forestal (CONIF): La Silvicultura y el Desarrollo Sostenible en América Tropical (熱帯アメリカにおける造林と持続可能開発) / 20-24 Sep 1993, Cali, Colombia

S1.05-14 (山岳地域における造林問題); S1.05-08 (天然林の更新): Mountain Silviculture in Central Spain (中央スペインの山岳造林) / 27 Sep - 1 Oct 1993, Spain

Division 1 (森林環境と造林); With the cooperation of Forestry Faculties of Istanbul University and the Black Sea Technical University; with the support of FAO, IUFRO and CIHEAM: International Symposium on Pinus Brutia Ten (Pinus Brutia 国際シンポジウム) / 18-23 Oct 1993, Mugla, Marmaris, Turkey

S1.03-01 (森林気象学・気候学): Atmospheric Influences on Growth (成長への大気影響) / Rescheduled for Summer 1994, Canada

S1.03-02 (森林水文学): International Symposium on Forest Hydrology, tentative title: Headhollow Hydrology (森林水文国際シンポジウム, 仮題: 源流水文

学) / Sep or Oct 1994

S1.03-00 (環境影響); S2.04-00 (遺伝学): Scaling up Problems/Advective Influences in Forest Terrain (森林地形のスケーリング・アップ問題/移流影響) / (not decided)

S1.07-14 (アフリカの人工林造林): Senegal or Ivory Coast Conference on Plantation Silviculture to Protect Natural Forests (天然林保護のための人工林造林会議) / (not decided)

Division 2 (森林植物と森林保護): Inter-Divisional Symposium on Non-wood Forest Products (非木材林産物に関する部会間合同シンポジウム) / New date: Mar 1993, Taipei, China

Division 2 (森林植物と森林保護); Nitrogen Fixing Tree Association; Institute of Forestry Project, F/FRED Project; USDA Forest Service, Tropical Forestry Program: Rosewood (Dalbergia spp.) - Multipurpose & High Value Timber Nitrogen Fixing Tree (ローズウッド(Dalbergia spp.)) - 多目的高価値材窒素固定木) / 31 May - 4 Jun 1993, Hetauda, Nepal

Division 2 (森林植物と森林保護): International Symposium on Genetic Conservation and Production of Tropical Forest Tree Seed (遺伝資源保護と熱帯林木種子生産 国際シンポジウム) / 15-19 Jun 1993, Chiang Mai, Thailand

S2.04-08 (細胞遺伝学): IUFRO Cytogenetics Working Party Symposium (IUFRO 細胞遺伝学ワーキングパーティ・シンポジウム) / 8-11 Sep 1993, Brijuni Island (National Park), Croatia

S2.07-08 (森林のタマバエ): Forest Gall Midges (森林のタマバエ) / Aug 1993, Krasnoyarsk, Russia

S2.01-15 (個体レベルの植物生理学): Advances in Tree Development Control and Biotechnology (樹木成長制御とバイオテクニクの進歩) / Autumn 1993, Beijing, China

Division 2 (森林植物と森林保護): Seedling Quality of Container-Grown Seedlings (コンテナ苗の品質) / 6-7 Oct 1993, (field trip 25 Sep - 5 Oct) Pietermaritzburg, South Africa

- S2.04-07 (体細胞遺伝学); National Centre for Environmental Education in Nature, Valsain, Spain (ICONA-CENEAN): Biotechnology of Trees (樹木のバイオテクノロジー) / 18-22 Oct 1993, Valsain, Spain
- S2.05-06 (植物の抵抗性機構): S2.07-05 (キクイムシの総合防除): S2.07-06 (森林昆虫の個体群動態): Mechanisms of Woody Plant Defenses against Herbivores (葉食害者に対する木本植物の防御メカニズム) / 21-23 Oct 1993, Koloa, Kauai Island, Hawaii
- S2.04-06 (分子遺伝学): the 6th Workshop of the IUFRO Working Party on Molecular Genetics (分子遺伝学ワーキングパーティー第6回ワークショップ) / (tentative) 21-24 May 1994, Black Point Inn, Maine, USA \*
- S3.05-00 (熱帯における森林作業): Forest Operations Research for Tropical Countries (熱帯国の森林作業研究) / possibly Apr 1993, Taiwan, Taipei, China
- S3.04-00 (作業計画・管理; 作業研究): Executive Planning Session (実施計画セッション) / 10-12 May 1993, Auburn, Alabama, USA
- P3.04-00 (小規模林業): S6.11-02 (先進国における森林農村開発): Forestry and Rural Development in Industrialized Countries (先進国の林業と農村開発) / 6-10 Sep 1993, Fredericton, New Brunswick, Canada
- P3.03-00 (労働科学); CIGR, IAAMRH; WHO: Health and Ergonomic Aspects of Safe Use of Chemicals in Agriculture and Forestry (農林業における薬剤の安全利用の健康と労働科学的側面) / 8-11 Jun 1993, Kiev, Ukraine
- P3.03-00 (労働科学); ILO; PET; University of Concepcion: Regional Training Course: Introduction to Ergonomics (地域トレーニングコース: 労働科学入門) / Jan 1994, Concepcion, Chile
- S3.02-03 (苗畑作業); Forest Research Institute of Malaysia: Forest Nursery Operations in Tropical Countries (熱帯国における林業苗畑作業) / Apr 1994, Kuala Lumpur, Malaysia
- P3.03-00 (労働科学); Federal University of Paraná; ILO: Ergonomics, Safety and Health in Plantation Forestry (人工林林業における労働科学, 安全, 健康) / May 1994, Curitiba, Brazil
- ECE/ILO/FAO Joint Committee; P3.03-00 (労働科学): Ergonomics with Special Attention to Personal Protective Equipment (個人保護具へ特に注意を払った労働科学) / May 1994, Finland
- P3.03-00 (労働科学); S3.05-00 (熱帯における森林作業); S3.06-00 (山岳条件での森林作業); P3.08-00 (森林作業と環境保護): Forest Operations under Mountainous Conditions, with Special Attention to Ergonomics, Accessibility and Environmental Protection (労働科学・到達可能性・環境保護へ特に注意を払った山岳条件での森林作業) / Jun/Jul 1994, Harbin, China
- Forestry Engineering Dept. of Oregon State University; P3.03-00 (労働科学): Harvesting, Wood Delivery and Utilization (収穫, 木材輸送, 利用) / Jul/Aug 1991, Corvallis, Oregon, USA
- S3.02-03 (苗畑作業); potentially a joint meeting with other WP's; hosted by the Ontario Forest Research Institute: Planting Stock Quality (植栽ストック品質) / late 1994, Ontario, Canada
- S3.02-03 (苗畑作業): Pre-XXth Congress meeting on Afforestation of First Rotation Sites - Production of Appropriate Seedlings, Seedling Establishment, and Stand Treatment (第一輪伐期地の造林-適苗生産, 植栽, 林地処理, 第XX回大会前ミーティング) / 1-12 Aug 1995, Garpenberg, Sweden and Tampere, Finland, including excursions in both countries
- S3.02-03 (苗畑作業); possible collaboration with S3.02-01 (造林作業) / 1996, India
- Division 4 (資源量調査, 成長, 収穫量, 量的・経営科学); twenty-four sponsors (by Sep 1992): Operationalization of Remote Sensing (リモートセンシングの機能化) / 19-23 Apr 1993, Enschede, The Netherlands
- S4.02-03 (継続的森林資源量調査); S4.01-07 (林分動態モデルの設計, 実行, 評価): Growth and Yield Estimation from Successive Forest Inventories (継続的森林資源量調査からの成長・収穫量評価) / 14-17 Jun 1993, Copenhagen, Denmark
- S4.02-05 (リモートセンシングと地球の森林モニタリング); UNEP: Developing Large Environmental Data Bases Using Geographic Information Systems and Remote Sensing Technology for Sustainable Management (GISとリモートセンシング技術を用いた持続可能な経営のための大規模環境データベースの開発) / Rescheduled: 14-16 Jul 1993, Nairobi, Kenya
- S4.02-01 (熱帯における資源データ); Int'l Assoc. of Forest Resources Management (INAFORM); University of Ibadan: Global Climate Change and the Tropical Rainforests (地球気候変動と熱帯降雨林) / 8-14 Aug 1993, Ibadan, Nigeria or Nairobi, Kenya
- Division 4 (資源量調査, 成長, 収穫量, 量的, 経営科学): 1993 International Geoscience and Remote Sensing Symposium - Better Understanding of Earth Environment (1993 国際地球科学とリモートセンシング・シンポジウム-地球環境のよりよい理解) / 18-21 Aug 1993, Tokyo, Japan
- S4.04-00 (森林経営計画・経営経済学): Modelling in Forest Management Planning and Managerial Economics - a Critical Investigation (森林経営計画と経営経済学におけるモデリング-批判的研究) / 30 Aug - 4 Sep 1993, Kaunas, Lithuania
- S4.02-00 (森林資源量調査とモニタリング); S4.04-00 (森林経営計画・経営経済学); S4.11-00 (統計手法, 数



学, コンピュータ); Division 6 (社会, 経済, 情報, 政策科学): Advancement in Forest Inventory and Forest Management Sciences (森林資源量調査と森林経営科学の進歩) / 20-25 Sep 1993, Seoul, Korea

S4.01-00 (測定, 成長・収穫量): Modelling Stand Response to Silvicultural Practices (造林施業への林分反応のモデリング) / Sep 27 - Oct 1 1993, Blacksburg, Virginia, USA

S4.02-00 (森林資源量調査とモニタリング): Spatial Accuracy of Natural Resource Data Bases (天然資源データベースの空間的正確度) / 15-19 May 1994, Williamsburg, Virginia, USA

Division 4 (資源量調査, 成長, 収穫量, 量的・経営科学): Growth and Yield in the Tropics (熱帯における成長と収穫量) / (tentative) Summer 1994, Indonesia

S4.02-00 (森林資源量調査とモニタリング); ISPRS Commission VII Symposium: Resources and Environmental Monitoring (資源と環境モニタリング) / 3-7 Oct 1994, Rio de Janeiro, Brazil

S4.01-04 (樹木・林分のシミュレーションのための成長モデル): Growth Models for Policy Making (政策作成のための成長モデル) / early Oct 1994, Prague, Czechoslovakia

S4.02-00 (森林資源量調査とモニタリング): Minimum Data Requirements for Sustainable Forest Management (持続的森林経営のための最小必要データ) / postponed until 1994, somewhere in the tropics

S5.01-00 (材質); IAWA; New Zealand Forest Research Institute: Third Pacific Regional Wood Anatomy Conference (第3回太平洋地域木材解剖学会議) / 20-24 Nov 1994, Rotorua, New Zealand

S6.01-00 (森林レクリエーション, 景観, 自然保護); S6.11-04 (多機能林業の経済的評価) / (tentative) 30 Aug - 10 Sep 1993, Korea and Taiwan, China

S6.11-02 (先進国における林業と農村開発); P3.04-00 (小規模林業): Forestry and Rural Development in Industrialized Countries: Where Are We Going? (先進国における林業と農村開発: 我々は何処へ進んでいるのか?) / 19-24 Sep 1993, Fredericton, New Brunswick, Canada

#### その他の研究集会

The Native Yew Conservation Council(NYCC); The University of California: International Yew Resources Conference - A Global Initiative (国際イチイ資源会議-地球的イチイシアチブ) / 12-13 May 1993, Berkeley, California

Smithsonian Institution: National Museum of Natural History Research Training Program (aimed at undergraduate students interested in systematic biology and natural history research) (国立自然史博物館研究トレーニングプログラム) / 22 May - 1 Aug

1993, Washington, D.C., USA

Pro Silva: Pro Silva Congress (プロ・シルヴァ会議) / 21-24 Jun 1993, Besancon, France

University of Wageningen; Euroconsult; Heidemij; Grontmij; KLM: The Future of the Land: Mobilizing and Integrating Knowledge for Land Use Options (土地の将来: 土地利用選択の知識の結果と集積) / 22-25 Aug 1993, Wageningen, The Netherlands

University of Forestry and Wood Sciences, Sopron, Hungary; Commission of the European Communities (DG VI), Brussels, Belgium; United Nations Economic Commission for Europe Task Force on Monitoring and Assessment of Air Pollution Effects on Forest Ecosystems, Geneva, Switzerland; Swiss Federal Institute for Forest, Snow and Landscape Research, Birmensdorf, Switzerland: Assessment of Increment Changes in Permanent Monitoring Plots (永久モニタリング・プロットにおける成長変化の評価) / 30 Aug - 3 Sep 1993, University of Forestry and Wood Sciences, Sopron, Hungary

Institute of Foresters of Australia: 15th Biennial Conference 1993 "Australasian Forestry and the Global Environment" (第15回隔年会議 1993「オーストラシアの林業と地球環境」) / 19-24 Sep 1993, Alexandra Headlands, Qld., Australia

Slovak Ministry of Environment; Slovak Hydrometeorological Institute Bratislava, Swiss Federal Institute of Technology ETH Zürich, Dept. of Geography, Slovak Meteorological Society Bratislava, Comenius University Bratislava, Czechoslovak C'ttee for Hydrology Bratislava, National Climate Programme of Czechoslovakia, WMO, IAHS, IAMAP, UNESCO, FAO: International Symposium on Precipitation and Evaporation (降水と蒸発国際シンポジウム) / 20-24 Sep 1993, Bratislava, Czechoslovakia

25th International Symposium on Remote Sensing and Global Environmental Change (第25回リモートセンシングと地球環境変化国際シンポジウム) / 4-8 April 1993, Graz, Austria \*

Management and Rehabilitation of Degraded Land and Secondary Forest in Amazonia: An International Symposium (アマゾンにおける荒地と二次林の管理と修復: 国際シンポジウム) / 18-22 Apr 1993, Santarem, Brazil \*

Biodiversity and Environment - Brazilian Themes for the Future (生物多様性と環境-ブラジルの将来テーマ) / 6-7 May 1993, London, UK \*

VI Brazilian Remote Sensing Symposium (第7回ブラジル・リモートセンシング・シンポジウム) / 14-20 May 1993, Curitiba, Brazil \*

What is New in Tropical Phytogeography? (熱帯植物地理学で何が新しい?) / 6-8 Jun 1993, Paris, France \*

## 森林総研、IUFRO-J事務局所蔵 IUFRO 文献リスト (1)

(定期刊行物、世界大会、Division 1, 2. Division内は年時順に配列)

## 定期刊行物

IUFRO News No.1 (Sept. 1972) - No.65 (4/1989),  
Vol.19 No.1 (1990) - Vol.21 No.4 (1992) - /IUFRO IUFRO-J News No.1 (1977.1) - No.48 (1993.3)  
- / IUFRO

IUFRO Annual Report 1978 - 1991 - / IUFRO

IUFRO Statutes, Internal Regulations / IUFRO,  
1990. 58pp.

Planning a Conference / IUFRO, 1980, 68pp.

## 世界大会

IUFRO Congress 10 / IUFRO, Zurich, 1949,  
267pp.IUFRO Congress 11. Rome 1953 / IUFRO,  
Firenze, 1954. 1103pp.IUFRO 11ième Congrès Rome 1953. Comptes  
Rendus / Firenze, 1954, 1103pp.IUFRO Kongress 13. 1 Teil, 2 Teil Band 1, 2 Teil  
Band 2 / IUFRO, Wien, 1961, 259pp., about  
1000pp., about 1000pp.14. IUFRO-Program, List of Members / IUFRO,  
München, 1967, 64pp.IUFRO Kongress 14. Papers 1, Papers 2, Papers 3,  
Papers 4, Papers 5, Papers 6, Papers 7, Papers  
8, Papers 9, Papers 10 / IUFRO, München, 1967,  
504pp., 440pp., 926pp., 678pp., 888pp., 565pp.,  
496pp., 791pp., 497pp., 402pp.X V IUFRO Congress Proceedings Rapport du  
Congrès Tagungsbericht / IUFRO, Gainsvill,  
Florida, USA, 1971, 334pp.IUFRO World Congress 16. Report, Division 1,  
Division 2, Division 3, Division 4, Division 5,  
Division 6, Meeting, Congress Tours / IUFRO,  
Norway, 1976, 493pp., 780pp., 578pp., 355pp.,  
444pp., 234pp., 337pp., 64pp.IUFRO World Congress 17. Report, Division 1,  
Division 2, Division 3, Division 4, Division 5,  
Division 6, Interdivisional, List of Participants  
/ IUFRO, Japan, 1981, 445pp., 615pp., 636pp.,  
506pp., 578pp., 416pp., 504pp., 177pp., 40pp.IUFRO World Congress 17. Excursion Pamphlet  
No.1 - No.14 / 50-200pp. each第17回国際林業研究機関連合 (IUFRO) 世界大会論文集  
1981 / 第17回国際林業研究機関連合世界大会組織委員会,  
京都, 930pp.明日の森林は今日の研究から (ユフロ第17回世界大会概要報  
告)、日本の林業地めぐり (第17回ユフロ世界大会エクス  
カーション報告) / 第17回ユフロ世界大会組織委員会、  
エクスカーション部会, 1981, 40pp., 61pp.IUFRO第17回世界大会運営マニュアル 第1分冊 一般  
マニュアル 第2分冊 エクスカーション / 第17回ユフロ  
世界大会組織委員会, 108pp., 31pp.IUFRO World Congress 18. Division 1 Vol.1,2,  
Division 2 Vol.1,2, Division 3, Division 4,  
Division 5, Division 6 / IUFRO, Yugoslav, 1986,  
801pp., 867pp., 410pp., 333pp., 554pp., 444pp.IUFRO World Congress 19. Congress Report A,  
B, Proceedings Division 1 Vol.1, Division 3,  
Division 4, Division 5, Division 6 / IUFRO,  
Montreal, 1991, 634pp., 457pp., 384pp., 391pp.,  
508pp., 514pp., 331pp.

## Division 1

Forestry Problems of the Genus Araucaria  
(IUFRO Meeting held in Curitiba, Parana  
(Brazil), October 21-28, 1979) / 1980, 382pp.Proceedings. Symposium on Site and  
Productivity of Fast Growing Plantations.  
Pretoria and Pietermaritzburg, South Africa 30  
April - 11 May 1984. Vol.1 Invited Papers.  
Vol.2 Voluntary Papers. / D. C. Grey, et al.  
(eds.) / IUFRO, South African Forest Research  
International Seminar on Environmental Assessment  
and Management (環境アセスメント・管理国際セミナ  
ー) / 27 Jun - 10 Jul 1993, Aberdeen, Scotland \*X V International Botanical Congress (第15回国際  
植物学会議) / 28 Aug - 3 Sep 1993, Tokyo, Japan \*Asia-Pacific Symposium on Mangrove Ecosystems (ア  
ジア太平洋マングローブ生態系シンポジウム) / 1-3 Sep  
1993, Hong Kong \*World Wildlife Congress (世界野生生物会議) / Oct  
1993, San José, Costa Rica \*Global Environmental Movement Initiative 1993 - the  
3rd Green Step (地球環境運動イニシアティブ-第3グ  
リーン・ステップ) / 8-12 Nov 1993 (The  
International Environmentalist organization will be  
founded at this event) \*以前に掲載したものは掲載していませんので、前号までの  
IUFRO-J News も併せてご参照ください。連絡先等は IUFRO News Vol.21 No.4 をご参照下さい (\* の  
研究会は IUFRO News に掲載されていませんので  
IUFRO-J 事務局宛お問い合わせ下さい)。 (事務局)

- Institute, 1984, 968pp.
- Human Impacts and Management of Mountain Forests (Proceedings of an International Workshop held in Japan 5-13 September 1987) / T. Fujimori, M. Kimura (ed.) / IUFRO P1.07-00, 1987, 421pp.
- Division 2
- FAO/IUFRO Symposium on Internationally Dangerous Forest Diseases & Insects Vol.1,2 / FAO, Rome, 1964
- Biology of Rust Resistance in Forest Trees: Proceedings of a NATO-IUFRO Advanced Study Institute, August 17-24, 1969 (Miscellaneous Publication No.1221) / USDA Forest Service, USA, 1972, 681pp.
- Proceedings of the Joint Symposia for Forest Tree Breeding of Genetics Subject Group, IUFRO and Section 5, Forest Trees, Sabrao / The Government Forest Experiment Station of Japan, 1972, 440pp.
- Effect of Cone Storage Method and Collection Date on Alaskan White Spruce (*Picea Glauca*) Seed Quality (IUFRO Working Party S2.01.06 Seed Problems) / J. C. Zasada / from International Symposium on Seed Processing, Bergen, Norway, 1973, Vol.1 - paper No.19, 10pp.
- Internationale Tagung über die Luftverunreinigung und Forstwirtschaft / IUFRO, Tschechoslowadei Marianske Lanzne, 1974, 436pp.
- Proceedings of the IUFRO Joint Meeting of Working Parties on Population and Ecological Genetics, Breeding Theory and Progeny Testing / Department of Forest Genetics, Royal College of Forestry, Stockholm, 1974, 497pp.
- Second World Technical Consultation on Forest Diseases and Insects, (in collaboration with IUFRO) New Delhi, India, 7-12 April 1975 (一部) - A Canker Disease of Eucalyptus in Brazil Caused by *Diaporthe cubensis* BRUNER - Dangerous Insect Pests of Forest Plantations in Thailand - Disease and Insect Pests of Fast-Growing Trees for Developing Countries, Softwoods - Fast Growing Hardwoods for Developing Countries: the Forest Disease and Insect Pest Position - Principal Problems Connected with Animal or Vegetable Pests in Natural Forest Stands and Man-Made Forests of French-Speaking Tropical Countries and North Africa - Status of Diseases and Insect Pests in Africa and Eurasia - The Status of Diseases and Insects in New Zealand and Australia - Status of Insects and Diseases in the Americas - Conclusions and Recommendations / FAO, 1975, 6pp., 5pp., 10pp., 11pp., 3pp., 5pp., 8pp., 9pp., 35pp.
- IUFRO S2.01.06 "Seed Problems", Proceedings of the Second International Symposium on Physiology of Seed Germination, Fuji - Japan 1976 / The Government Forest Experiment Station, Tokyo, 1976, 271pp.
- Proceedings of the IUFRO Joint Meeting of Genetic Working Parties on Advanced Generation Breeding, Bordeaux 1976 / M. Arbez, Breeding Theory IUFRO Genetics Subject Group / I. N. R. A., Laboratoire d'Amélioration des Conifères France, 1976, 207pp.
- Proceedings of the IUFRO Joint Meetings of Working Parties, Vancouver, Canada, 1978, S2-02-05 Douglas Fir Provenances, S2-02-06 Lodgepole Pine Provenances, S2-02-12 Sitka Spruce Provenances, S2-02-14 Abies Provenances, Volume 1 Background Papers and Douglas Fir Provenances, Volume 2 Lodgepole Pine, Sitka Spruce and Abies Provenances / IUFRO / Provinces of British Columbia, Ministry of Forests, 426pp., 404pp.
- Proceedings of the IUFRO Joint Meeting of Working Parties on Norway Spruce Provenances and Norway Spruce Breeding 1979, Bucharest / Lower Saxony Forest Research Institute, Germany(FR), 486pp.
- Proceedings of the Symposium on Flowering Physiology at the XVI IUFRO World Congress, Kyoto, Japan 1981 / IUFRO Working Party S2.01.05 Reproductive Processes / the Japan Forest Tree Breeding Association, Tokyo, 141pp.
- Proceedings of the IUFRO Joint Meeting of Working Parties on Genetics about Breeding Strategies including Multiclinal Varieties, Sensenstein, September 6-10, 1982 / Lower Saxony Forest Research Institute, Dept. Forest Tree Breeding, Germany, 237pp.
- Tree Root Systems and Their Mycorrhizas - Proceedings of a Meeting of IUFRO, Working Party on Root Physiology and Symbiosis (Developments in Plant and Soil Sciences, Vol.7) / D. Atkinson, et al. (ed.) / Martinus Nijhoff/Dr. W. Junk Pub., The Hague, 1983, 525pp.
- 13th International Meeting of Specialists in Air Pollution Damages in Forests, IUFRO S2.09 Air Pollution, Most 27. 8 - 1. 9 1984 Czechoslovakia / Forestry and Game Management Research Institute, Czechoslovakia, 1984, 429pp.
- Proceedings of the Joint Meeting of the

Working Parties S2-02-10 Poplar Provenances and S2-03-07 Breeding Poplar with the IPC ad hoc Committee Poplar Breeding during the X VI Session of the International Poplar Commission, Ottawa, Canada, October 1-4, 1984 / IUFRO, National Plant Materials Center, Soil Conservation Center, Aokautere, Ministry of Works and Development, Palmerston North, New Zealand, 142pp.

Population Genetics in Forestry - Proceedings of the Meeting of the IUFRO Working Party "Ecological and Population Genetics" held in Göttingen, August 21-24, 1984 (Lecture notes in Biomathematics; 60) / H.-R. Gregorius (ed.) / Springer-Verlag, Berlin, 1985, 287pp.

Crown and Canopy Structure in Relation to Productivity (Proceedings of IUFRO International Workshop, October, 1985, Japan) / T. Fujimori, D. Whitehead (ed.) / IUFRO, 1986, 448pp.

Proceedings of the International Symposium on Forest Seed Problems in Africa, Harare, Zimbabwe, Aug 23 - Sept 2, 1987 (IUFRO P.2.04.00 Seed Problems) / S. K. Kamra, R. D. Ayling (comp.) / Swedish University of Agricultural Science, 1987, 399pp.

Proceedings of the IUFRO Working Party on Breeding Strategy for Douglas-Fir as an Introduced Species / W. Ruetz, J. Nather (ed.) / Working Party S2.02.05, Vienna, 1987, 300pp.

Somatic Cell Genetics of Woody Plants (Proceedings of the IUFRO Working Party S2.04-07 Somatic Cell Genetics, held in Grosshansdorf, Federal Republic of Germany, 1987) / M. R. Ahuja (ed.) / Kluwer Academic, Dordrecht, 1988, 225pp.

Forest Insect Pests and Tree Diseases in the Northeast Asia - Proceedings of the IUFRO Regional Workshop, August 28 - September 1, 1989, Tsukuba, Japan / K. Kobayashi, et al. (ed.) / Forestry and Forest Products Research Institute, Japan, 1989, 344pp.

Proceedings of the IUFRO Rusts of Pine Working Party Conference, September 18-22, 1989, Banff, Alberta, Canada / Y. Hiratsuka, et al. (ed.) / Forestry Canada, Canada, 1991, 408pp.

Division 2 までの文献を掲載しました。Division 3 以降の文献は次号以降に掲載します。

上記文献は、林業科学技術振興所筑波支所（〒305 茨城県稲敷郡茎崎町松の里1 森林総合研究所内 TEL 0298-73-3563）にてコピーサービス（有料1枚45円）が可能です。

上記以外の IUFRO 文献をお持ちでしたら、IUFRO-J 事務局（森林総合研究所海外研究協力室 TEL 0298-73-3211(232)）宛お知らせ下さい（余部の無い文献でもお知らせ下さい）。収集・紹介させて頂き皆様のご利用の便宜を図りたいと思います。

(事務局)

## 機関代表会議のご案内

平成4年度ユフロー-J 機関代表会議を下記のように開催しますのでお知らせします。

記

日時：平成5年4月6日(火) 12:00~13:00

場所：岩手大学教育学部 2号館会議室(4F)

議題：1) 平成4年度事業報告

2) 平成4年度会計報告

3) 会計監査報告

4) 平成5年度事業計画

5) 平成5年度予算案

6) その他

各機関には万障お繰合せのうえ、御出席下さるようお願いいたします。

<IUFRO-J News の原稿を募集しています。>

IUFRO 研究集会へ参加されてのご報告、研究集会の案内、その他 IUFRO に関連するご投稿・ご意見がございましたら、IUFRO-J 事務局宛お寄せ下さい。IUFRO-J News に掲載させて頂きま  
(事務局)

IUFRO-J News No. 48 平成5年3月25日

編集・発行：

国際林業研究機関連合日本委員会事務局  
茨城県稲敷郡茎崎町松の里1 森林総合研究所内  
TEL 0298-73-3211 (232)